

【図解】経筋学 第1版第1刷 正誤表

ページ 行 誤 正

- iv 上から4行目 訴える。訴えることが多い。
- X 第1章 ① 細字部分 筋肉と筋肉は、つながって
② 細字 4行目 経穴だけでは 正穴だけでは
- xviii 下から11行目 体位によって効果が左右される経穴への刺針
経穴への刺針は体位によって効果が左右される
- 3 下から8行目 筋肉と筋肉は、つながって
- 6 下から3行目 経穴だけでは 正穴だけでは
- 14 上から7行目 十二経筋と筋肉組織によって
十二経筋の筋肉組織、それに十二皮部によって
- 20 下から4行目 表裏関係の陰経経脈 元の経脈
- 26 下から6行目 などはみな、病的邪気を などはみな、経筋に病的邪気を
- 26 下から5行目 寒邪が最もよくみられる 寒邪瘀血が最もよくみられる
- 26 最後の行 痛みを生じる 痛み(寒痹)を生じる
- 29 下から14行目 臓腑の衰退 臓腑機能の衰退
- 29 下から2行目 読み はいふくきん ひふくきん
- 30 上から2行目 読み しゅぶつう しょうぶつう
- 31 本文上から1行目 読み しゅこつづ しょうこつづ
- 35 下から5・7行目の2カ所 前肩 肩前
- 35 下から5行目 上腕三頭筋 上腕二頭筋
- 36 上から19行目 基 - 42 基 - 43
- 39 上から9行目の最後に追加 これらの疾患も東洋医学では治すことができる。
- 47 表1 足太陰経筋の起始部 第1趾 足第1趾
- 82 下から12行目 その直行するものは後頭部に
その直行するものは脊椎両傍の筋肉を上行して後頭部に
- 89 上から11行目 女性は関節軟骨が 女性は関節軟骨(半月板)が
- 96 下から6行目 脊椎間円板 脊椎椎間板
- 99 本文上から4行目 仙骨管裂孔 仙骨管裂孔
- 106 下から15行目 異常と、その高さ 異常、胸部・腰部の椎骨の異常、その高さ
" 文の最後に 椎骨に異常があると左右どちらかが盛り上がっていることが多い。追加
- 113 上から9行目 症状は急速に それに原因していた症状も急速に
- 113 下から6行目 精神的緊張からまず筋肉の 精神的緊張からまず後頸部の筋肉の

- 116 下から 8 行目 硬結し首が回りにくく
- 116 下から 1 行目 基 - 130 基 - 133
- 117 上から 7 行目 施灸し 灸頭針し
- 124 下から 5 行目 腓腹筋内側頭膝窩筋 腓腹筋内側頭と膝窩筋
- 124 下から 2 行目 やや後方 やや下方
- 130 3 行目 1 | 足少陽経筋の分布 (基-21)
- 134 11 行目 臀部 大腿前面と外側
- 136 本文 2 行目 走行を 走行からも
- 137 囲み内 2 行目 大腿四頭筋腱のやや内側
- 142 上から 13 行目 経脈上 経筋上
- 148 下から 4 行目 1 | 足陽明経筋の分布 (基-23)
- 154 1 行目 ほかの足の 2 つの
- 157 上から 5 行目 基 - 104 基 - 102
- 161 4 行目 1 | 足太陰経筋の分布 (基-24)
- 162 4 行目 足陰経の経筋は 足陰経の経脈は
- 162 最後の行 走行 (基-111) をクローズアップ
- 166 下から 14 行目 1 | 足少陰経筋の分布 (基-25)
- 169 下から 11 行目 2 | 足厥陰経筋の分布 (基-26)
- 170 7 行目 患者は多発性でがんは骨転移もしていた。
- 173 4 行目 1 | 手太陽経筋の分布 (基-27)
- 180 上から 2 行目 基 - 130 基 - 120
上から 5 行目 基 - 124 基 - 127
- 182 上から 5 行目 基 - 124 基 - 127
右上の図版の番号 基 - 124 基 - 127
上から 16 行目 基 - 125 基 - 128
上から 17 行目 基 - 126 基 - 129
上から 21 行目 基 - 127 基 - 130
- 183 左上の図版の番号 基 - 125 基 - 128
右上の図版の番号 基 - 126 基 - 129
- 184 上から 3 行目 基 - 127 基 - 130
上から 6 行目 基 - 128 基 - 131
上から 8 行目 基 - 129 基 - 132
左中央の図版の番号 基 - 127 基 - 130
右中央の図版の番号 基 - 128 基 - 131
下の図版の番号 基 - 129 基 - 132

- 186 左上の図版の番号 基 - 130 基 - 133
右上の図版の番号 基 - 131 基 - 134
上から 3 行目 基 - 130 基 - 133
- 187 3 行目 1 | 手少陽経筋の分布 (基-28)
下から 9 行目 基 - 132 基 - 135
下から 6 行目 基 - 125 基 - 128
下から 1 行目の 2 力所 基 - 130 基 - 133
- 188 上から 12 行目 基 - 130 基 - 133
右上の図版の番号 基 - 132 基 - 135
下から 12 行目 1 | 手陽明経筋の分布 (基-29)
- 189 上から 5 行目の 2 力所 基 - 130 基 - 133
4 行目 1 | 手太陰経筋の分布 (基-30)
- 192 右下の図版の番号 基 - 133 基 - 136
- 195 3 行目 1 | 手少陰経筋の分布 (基-31)
- 196 6 行目 1 | 手厥陰経筋の分布 (基-32)
- 215 章見出しの後に追加
経筋病の治療方法には、推拿、皮内針、刺針、灸頭針、刺絡、火針などがある。以下に順次説明したい。
- 217 下の囲み内 下から 5 行目 1 ~ 2 mm 刺入する。 1 ~ 2 mm 横刺する。
- 228 表 1 三叉神経痛の刺針方向 1.5 ~ 2 寸 1 ~ 1.5 寸
- 235 症例の囲み 下から 3 行目 足太陰脾経 の前に 陰陽表裏関係で治療する場合は、
を追加
- 238 下から 4 行目 陰陽関係は深く 陰陽関係は経絡を通じて深く
- 240 表 4 治療部位 1 段目 経脈上の 経脈の左右反対の経脈上の
2 段目 経絡を刺す。 左右反対側の
- 243 上から 11 行目 (脾経・肝経) (脾経・肝経・腎経)
- 246 上から 17 行目 関連していることが多いので、 関連しているので、
- 247 上から 8 行目 乾 燥
下から 10 行目 風池は足太陽小腸経 風池は足少陽胆経
下から 6 行目 湿関節疾患 膝関節疾患
- 248 下から 11 行目 2 | 体位によって効果が左右される経穴への刺針
2 | 経穴への刺針は体位によって効果が左右される
- 257 本文下から 1 行目 (臨-32) 削除
- 259 上から 14 行目 ペンシル削除
- 262 上から 14 行目、「1. 採血用の穿刺器による刺絡」の項、差しかえ

1. テルモ製「採血用穿刺器」による刺絡

用具はディスポーザブル採血用穿刺器（テルモ製品，コード番号 MS-GN02）で，使用するディスポーザブルの針は，採血用穿刺器からは完全に分離され，一個人に使用し終えてディスポーザブルの針を変えると他人には使用できない構造になっており，感染の可能性はまったくないように改良されている。

このテルモ製「採血用穿刺器」の使用時には痛みはほとんどなく，手足の井穴・十宣穴といった，手足の末端の痛みに敏感な部位や，带状疱疹に対して用いる龍眼穴などの末端部の敏感な部位などに刺絡するのに適している。

臨-40 写真差し替え，注射針～採血針削除

264 上から 5 行目 (臨-43) 削除

臨-43 写真差し替え

300 下から 10 行目 氣海 氣会

303 (症例 3) 下から 9 行目 髀中 中脘

307 臨-55 2 点部 天部

329 臨-61 承位 承泣

353 臨-77 見だしと図中の 2 力所 僧帽筋 胸鎖乳突筋

361 上から 4・6 行目の 2 力所 基 - 127 基 - 130

上から 12 行目 基 - 128 基 - 131

上から 23 行目 基 - 129 基 - 132

表 9 中 基 - 128 基 - 131

〃 基 - 127 基 - 130

363 臨-82 肩髃 肩髃，説明文，上から 6 行目 上腕三頭筋 上腕二頭筋

369 上から 8・9 行目の 2 力所 基 - 125 基 - 128

上から 8 行目 基 - 126 基 - 129

370 下から 2・3・5 行目の 3 力所 基 - 125 基 - 128

372 上から 4・7 行目の 2 力所 基 - 125 基 - 128

〃 基 - 126 基 - 129

422 治療方法 上から 4 行目 会腰 会陽

435 上から 11 行目 仙骨管裂孔 仙骨管裂孔

452 上から 17 行目 大陸 大陵

470 3 段目 腓骨筋・ 群・腓骨頭・腓腹筋・ 痙攣 ひ の項へ移動